

Kosen Watching

私たちの高専



体育祭応援合戦

北九州工業高等専門学校
機械工学科5年 秦 寛樹

皆さんは中学生の時に、社会の日本史の教科書に日本で最初にできた製鉄所、官営八幡製鉄所の記述があったのを覚えていますか？わたしたちの北九州高専はその製鉄所があり日本の近代工業を支えてきた街、北九州市の南部に位置しています。北九州の街は人口約100万人で、1963年に5市が合併して誕生した都市です。市内の沿岸部は四大工業地帯の一つ、北九州工業地帯であり、製鉄業をはじめとする重化学工業の企業が集積し、また近年では、北部九州に次々と自動車関連の企業が進出してきています。また、2003年にはロボット特区に認定され、重化学工業だけでなく、さまざまな産業が集まる都市に変化してきています。

学校は、JR志井公園駅、モノレール志井駅から徒歩10分、学校のすぐ下にバス停があり、交通の便はとていいところに位置しています。学校の特色は、学生会行事が大変にぎやかなことと課外活動が活発なことです。学生会行事とは体育祭、高専祭(文化祭)を中心とした行事です。体育祭では、応援合戦、騎馬戦、棒倒し、相撲など時にはライバル意識をむきだしにし、時には笑いを誘うパフォーマンスを行い、大いに盛り上がります。高専祭は各学科と学生寮が趣向を凝らした御輿を製作し市中行進を行ったり、各クラスでは専門学科の特色を生かした展示をしています。課外活動ではバドミントン部が全国高専体育大会での9連覇をはじめ、剣道、バスケット、野球、柔道など多くの運動部が高専大会で好成績を挙げています。また、電子制御工学科二年生の有志5人のチームがロボカップジュニア世界大会のサッカー部門に出場し見事、準優勝しました。そして、忘れてはならないのは、高専における最大のイベント「全国高等専門学校ロボットコンテスト2007全国大会」において北九州高専「あばうたあ〜ず」が、5年振り2度目の全国優勝をしたことです。「あばうたあ〜ず」は、おそろいの赤いつなぎを着て活動しているのですが、活動内容は高専ロボコンだけではなく、製作したロボコンのロボットで、近隣の小学校や、市民センターなどに招かれ、小中学生を対象にロボットの体験操作、北九州市と提携しロボットのイベントの企画、運営などのボランティア活動など、様々な活動を行なっています。

また教員と5年生、専攻科生による研究活動も活発で細胞工学センターをはじめとして、基礎研究から最先端技術に関する研究を行い国内に留まらず、海外からも高い評価を受けています。最後になりましたが、少子化と理系離れが進んでいる中、これから先は今まで以上に学生同士が協力し、高専をもっと魅力ある学校として盛り上げて行かなければならないと感じています。

最後にになりましたが、少子化と理系離れが進んでいる中、これから先は今まで以上に学生同士が協力し、高専をもっと魅力ある学校として盛り上げて行かなければならないと感じています。

最後にになりましたが、少子化と理系離れが進んでいる中、これから先は今まで以上に学生同士が協力し、高専をもっと魅力ある学校として盛り上げて行かなければならないと感じています。

所在地	福岡県北九州市小倉南区	入学定員
学 科	機械工学科	40
	電気電子工学科	40
	電子制御工学科	40
	制御情報工学科	40
	物質化学工学科	40
専攻科	生産工学専攻	8
	制御工学専攻	8
	物質化学工学専攻	4



北九州高専構内の風景

魅力ある学校、盛り上げて行こう！

北九州高専



高専祭での御輿



ニュートンのリンゴの木

有明工業高等専門学校
建築学専攻1年 近藤 志穂

有明高専は福岡県大牟田市にあります。大牟田市は福岡県の南端に位置し、熊本県荒尾市と接している県境の都市です。本校は大牟田・荒尾の各駅から5km程離れた萩尾台にあり、近くに三池山・小岱山の四季の緑、遠くに有明海を隔てて雲仙・多良岳を望むことができます。学生寮は、校舎から歩いて10分弱のところがありますが、熊本県荒尾市に属し、校舎と学生寮の所在地が福岡・熊本両県に分かれています。市街地からは離れているので本校の周りには緑が溢れ、とても静かで勉強しやすい場所です。大牟田市は「炭鉱の街」として有名でしたが、閉山してからは活気を失ってしまい、人口も減り続けています。

校舎に行くには長い長い坂道、通称「高専坂」を上らなくてはなりません。本科生の頃、自転車通学だった私にとってはとてもつらい坂で、いつも自転車を押して高専坂を上っていました。バス通学やバイク通学をする学生がスイスイと高専坂を上って行く姿を見てうらやましく思ったものです。私が所属していた硬式テニス部には高専坂をダッシュするという練習メニューがあり、とてもきつい練習だったことを思い出させてくれる思い出の坂でもあります。

このような坂の上にある本校ですが、坂の下まで活気が伝わるほどとても盛り上がる行事は、毎年交互にある体育祭と高専祭、また毎年、春と冬に行われる球技大会です。体育祭、高専祭では夏休み前から準備や練習を始め、1年生から5年生までが一丸となってどの学科も素晴らしいものを作り上げています。球技大会の前では練習のために昼休みのグラウンドや体育館のコート取りがとても困難となるぐらい、クラスが一致団結し、優勝を勝ち取るために日々練習に励んでいます。

本校の本科2年生は、各学科8名程度の学生で構成された混合学級になっています。始業式の日どんなクラスになるのだろうと、わくわくしながら教室に入ったことを今でも覚えています。3年生になると専門学科のクラスに戻るのですが、混合学級は他学科の友達と仲良くなることができ、とても新鮮で楽しい思い出がたくさんできました。1年間という短い期間のクラスですが、そこでできた友達とは今でも連絡をとりあっているほど、とても大切な友人です。

私は専攻科7期生であり、専攻科1年生は総勢36名という大人数です。今年入学予定の8期生も人数が多く、専攻科が一層、充実してきていると感じています。私は本科生の頃、同じ学校に7年間も通うなんて絶対にイヤだと思っていましたが、専攻科の魅力に引かれ、社会的にも専攻科の認知度が高まり評価されており、現在は専攻科に進学して本当に良かったと思っています。専攻科生は本科生とは違い、時間にも余裕があるため、実習や学会発表など学外での活動に参加でき、良い刺激になり勉強になることが多いと思います。

残りわずかな学生生活をこの愛着ある有明高専で、多くのことを学び吸収し、存分に楽しみ、誇りを持って修了したいと思っています。

所在地	福岡県大牟田市	入学定員
学 科	機械工学科	40
	電気工学科	40
	電子情報工学科	40
	物質工学科	40
	建築学科	40
専攻科	生産情報システム工学専攻	12
	応用物質工学専攻	4
	建築学専攻	4



高専祭

体育祭応援



建築学専攻1年の女子学生(背後の建物は総合研究棟と電子情報工学科棟)

Let's Enjoy Kosen Life

有明高専